

2 建築計画

2-1 施設配置計画

2-2 平面計画

(1) 病院棟 平面計画

(2) 特定施設棟 平面計画

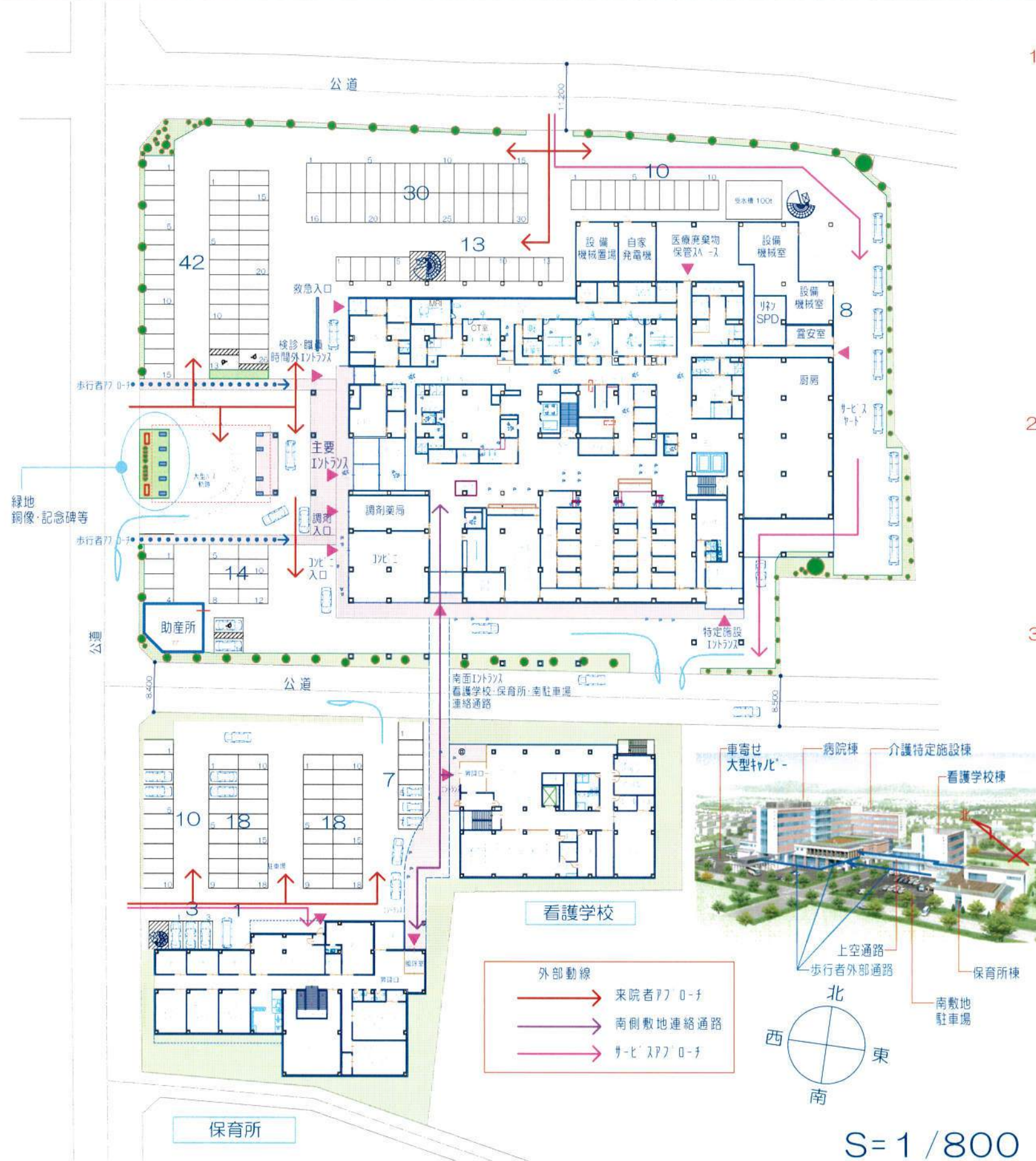
(3) 看護学校棟 平面計画

(4) 保育所棟 平面計画

2-3 立面計画

2-4 移転新築事業費用総括書

2-5 工程表



1. 建物配置

- 北側敷地(約11,500㎡)に病院・介護特定施設棟を配置、市道を挟んだ南側敷地(約4,300㎡)に看護学校棟と保育所棟を配置し、上空通路等(1・2階)で連絡する配置計画とします。施設へのアプローチは北西側の中心市街地方面からが多いと考えられます。また、当敷地には、建築基準法上の日影規制がかけられていますので建物北面と道路境界の距離を日影規制を満足させるまで確保する必要があります。従って、病院棟配置は南側に寄りとし、西側に建物のメイン入り口を設ける計画としています。さらに、機械室(低層)を北側に、東側に厨房等のサービス動線を、南面に南側敷地との連絡動線を計画しています。
- 南側敷地には、看護学校・保育所・駐車場を不整形な土地に効率よく配置します。低層の保育所を敷地南側に配置、日当たりに配慮すると同時に出来るだけ冬期間の駐車場の日当たりを良くします。

2. 駐車場

- 駐車場については、建物北側とメインアプローチ側の西側敷地さらには、南側敷地を主要駐車場として計画しています。
- 駐車場内訳
- ・西側メイン入り口周り駐車場 56台
 - ・北側駐車場 53台
 - ・南側敷地駐車場 53台
 - ・東側サービスエリア駐車場 8台
- 総合計170台

3. 来院者、職員、外部動線計画

- 来院者アプローチ 病院棟西側の大屋根を持つ車寄せにおいて、大型バスも含め複数の車輛からの乗り降りが、降雪時でも容易に出来るような配慮をしています。また、左図示す病院棟西側と南側に応付き歩行者専用の通路を設け、病院・特定施設等の来院者が様々な形で時間を過ごしながらかい待ちを待つまたは交流する場所として気持ちの良い空間(外部通路)を計画します。
- 救急入り口・時間外・職員入り口はメイン入り口の左側(北西面)に連ねて設置し内部動線の単純化を図ります。
- 調剤薬局・コンビニ(24時間営業)は外部通路と内部ホールと両方からアプローチ出来る位置に配置し、来院者または地域の人々が気軽に訪れることが出来る計画・雰囲気を出します。
- 病院棟・看護学校・保育所は病院棟中央ホールに繋がる南北軸に配置した内部～外部通路で連絡します。この通路は、病院棟の西・南面応付き外部通路(雁木)と交差し駐車場～病院～介護特定施設～看護学校～保育所間の外部歩行者動線をスムーズにします。さらに、これら外部通路にはストリートファニチャーを随所に配置すると同時に緑化もし、単なる通過スペースではなく、街中のコミュニティスペースにもなるような計画とします。

- 日影規制による高さ制限も考慮し、病棟高層部を6階+塔屋1階とし、介護特定施設棟を5階+塔屋1階とします。
- 病院棟1階中央部に一般患者・来院者用のエレベーターを設け、主要縦動線とします。また、業務用(サービス・給食用)と介護特定施設入所者用エレベーターを待合ホール東側端に分離し配置します。給食用エレベーターは、病院と特定施設兼用とします。さらには、メインエントランスまたは、南側敷地からのエントランスと2階多目的ホール、通所リハビリ、レストランへのアプローチを容易にするため1～2階間を連絡する専用エレベーターを設置します。
- 病棟中央のエレベーターは、1階検査エリア・待合ホール 2階医局・手術室 3～6階ナースステーションを効率的に連絡していおり、医師・スタッフ・患者の利便性に配慮した計画としています。
- 臨床検体は専用ダムウェーターを利用し1階中央処置室 2階臨床検査室 3～6階ナースステーション搬送する計画としています。
- 4～6階病院棟と介護特定施設棟間を繋ぐ通路は、日常的には、給食搬出入用通路ですが、火災時の避難の際はベッドごと別棟へ移動避難する通路としても考えた計画です。

